

ICT を活用した学習場面

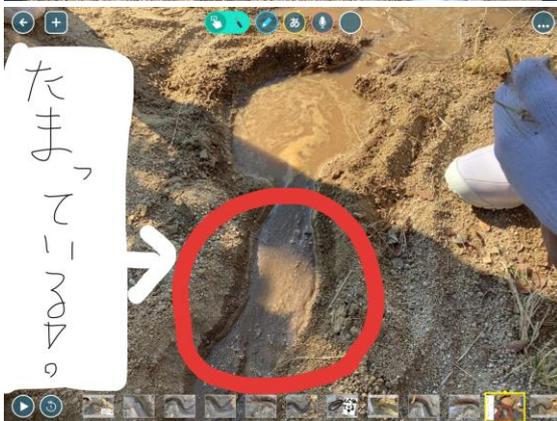
B3 思考を深める学習, C2 共同での意見整理

理科	5年3組 甲斐 義一
単元名 流れる水の働きについて調べよう (3/6)	
本時のねらい: 流れる水の働きについて, 予想した働き(「けずる」「運ぶ」「ためる」)をグループで撮影した実験動画から見付けロイロノートでマーキングしたり動画を共有して伝え合ったりする活動を通して, 「侵食」「運搬」「堆積」という働きがあることを理解できるようにする。	
評価規準: 流れる水の働きについて, 予想した働き(「けずる」「運ぶ」「ためる」)を実験動画から見付けマーキングしている。【知識・技能】	

指導の流れ

児童の活動 (ICT 活用の様子)・ICT 活用のねらいや留意点

1. 各グループで撮影した動画を見ながら前時の実験を振り返る。
2. 実験前に立てた予想を想起し, 動画を見る視点(「けずる」「運ぶ」「ためる」)を確認する。
3. ロイロノートを使って, 自分のグループの実験動画から「けずる」「運ぶ」「ためる」の証拠を見付け, 動画にマーキングする。



- ・一人一台端末を用いて各グループで行った実験の動画を見ながら予想が正しいか確かめることで, 繰り返し見たりスローで見たりしながら流れる水の働きについて気付くことができるようにするとともに, 個別に意欲的に考え表現できるようにする。
 - ・生徒間通信の機能を用い, 事前に撮影した動画を同じグループの児童と共有しておくようにする。
4. マーキングした動画を大型テレビで見ながら共有し, 「侵食」「運搬」「堆積」の働きについて確認する。

ICT 活用の効果 (困りが解決されたか)

成果: 「流れる水の働きは」, 水が流れ地面が削られたり土や石が運ばれ溜まったりする一連の様子から理解へつなげる必要がある。これまでは, 実験の様子を教師が撮影し, その例をもとに一斉指導のもと働きを見付け理解へつなげるという指導を行ってきた。今回, グループに1台 iPad を使用して実験の様子を収め, その動画を共有し, 一人一人が予想を確かめ表現することで, 「侵食」「運搬」「堆積」という働きについてより主体的に学ぶことができた。

課題: 実験前に, 撮影の角度や何に焦点化するかなどの視点を明確に持つようにする必要がある。